

丸一 龍旅

〒379-1403 群馬県利根郡みなかみ町猿ヶ京温泉199 Tel. 0278-66-0066

Guide Map

例年、3月下旬～4月中旬に中庭の
しだれ桜🌸が見ごろになるよ！

00 フロントデスク/ロビー/
ショップ「マルイチノイチ」

01 本館2F客室
椿山(ちんざん)
華山(かざん)

02 茶室

03 蔵の湯「林」

04 本館離れ
🌊 清逸(せいつ)
🌊 晴湖(せいこ)
🌊 寛畝(かんぼ)

05 特別室
🌊 正明(せいめい)

06 特別室
🌊 彦司(ひこじ)

07 特別室
🌊 友七(ともしち)

08 特別室
🌊 文蔵(ぶんざう)

09 特別室
🌊 友右エ門
(ともえもん)

10 特別室
🌊 友吉(ともきち)
🌊 曾賀(そが)

11 特別室
🌊 繁松(しげまつ)
🌊 万津(まつ)

12 特別室
🌊 楓(かえで)

13 万葉亭2F客室
桐(くぬぎ)
椎(しい)
檜(なら)

14 万葉亭食事処

15 プライベート
サウナ

16 エステサロン



お風呂



喫煙所



自販機

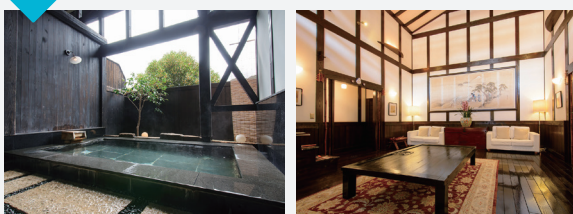
赤谷湖

00 フロントデスク/ロビー/
ショップ「マルイチノイチ」



国道沿いの建物に引越して、ソファでお寛ぎいただける心地良い空間に生まれ変わりました。

03 蔵の湯「林」



趣きある設えの玄関ホール。歴史が薫る書画を眺めていると美術館にも思えてきます。

14 万葉亭食事処



風にゆれる暖簾やどこか懐かしい佇まいの万葉亭は、落ち着いた雰囲気で行旅の情緒を引き立てます。

お部屋：



【 昼間（内線） 】

【 夜間 20:00 以 降（内線） 】

フロントデスク：301 **緊急時のみ：310**



Wi-Fi：guest Pass：hata58-maru1

インターネットサービスの利用により生じたあらゆる損害、
損失について当館は一切責任を負いませんので予めご了承ください。



施設内および客室ご利用時のお願い

当館の接客は、お客様のプライベートを尊重して、
干渉しないことがサービスであると考えております。そのため、スタッフの客室の出入りは極力控えさせて
いただいておりますのでご理解くださいますようお願いいたします。

フロントデスク・ロビー・ショップ「マルイチノイチ」

薪ストーブとソファのある居心地の良いスペースです。ショップ
「マルイチノイチ」では骨董のうつわや丸一オリジナル商品など
を販売しております。

チェックイン・チェックアウト

【チェックイン】15:00 【チェックアウト】10:00

※レイトチェックアウトは12:00まで可。

※1室1時間あたり4,400円。

チェックイン、チェックアウト（お部屋の鍵の返却）はフロント
デスクにてお願いいたします。また、お荷物はご自身でお部屋
までお運びくださいますようお願いいたします。

大浴場 / 蔵の湯（くらのゆ）「林」

【オープン時間】15:00～翌10:00

※10:00～15:00は清掃のため利用不可。

明治に建築され、15代続いた豪農の蔵の古材を利用して作られた
大浴場と露天風呂。中央のホールは、高い天井の空間に書画や
アンティーク家具を設えた、趣のあるスペースとなっています。

温泉温度

蔵の湯および客室の温泉温度は季節ごとに変わるので
一定ではありません。適温と感じられない場合はスタッフ
にお声がけください。

お食事

【夕食】18:00～20:00 【朝食】8:00～9:00

お食事の開始時間に、万葉亭食事処にお越しく下さい。
もしも遅れる場合は事前にご連絡をお願いいたします。

お布団

当館では、お布団はお客様ご自身で敷いていただいております。
ご了承ください。

喫煙

館内は全て禁煙となっております。
喫煙所は屋外に設置しております。

急病時の対応

万が一、滞在中に怪我や急病などで病院にかかりたい場合
や、救急車が必要な場合は、恐れ入りますがご自身でご連絡
をお願いいたします。また、病院の往復はタクシーなどをご利用
ください。

当館では送迎サービスは行っておりません。ご了承ください。

【夜間・休日の救急対応の病院】

利根沼田広域消防本部
救急病院等案内テレホンサービス …… Tel.0278-24-0099
月夜野病院（みなかみ町） …… Tel.0278-62-2011
利根中央病院（沼田市） …… Tel.0278-22-4321

【タクシー会社】

※営業時間、送迎エリアは直接ご連絡のうえ、ご確認ください。
関越交通タクシー（沼田市） …… Tel.0278-24-5151
新治タクシー（みなかみ町） …… Tel.0278-62-3111



HISTORY

旅籠屋丸一の成り立ち

江戸時代の享保の頃、三国街道沿いに建てられた当時は丸一
屋と呼ばれておりました。創業者は「友右ヱ門」で「群馬県史、資
料編12」の中の「諸業高名録」に記されており、当館の過去帳にも
一代目 林 友右ヱ門として残されています。創業はおおよそ江戸
時代の享保年間で、旅籠屋丸一は猿ヶ京温泉の歴史深い宿の
ひとつという事になります。

当時の猿ヶ京温泉は、越後から米や塩を持って来る人々と、江
戸からそれらを買付けに来る人々との合流地点であった為、
本陣を置くほど往来の激しい場所でした。丸一屋は宿としても

賑わっていた一方、七代目で、諸国を巡らし馬喰で財を成した
友七、八代目で蘭方医だった彦司など他の道を極めた人も傑出
しました。特に友七は書画に造詣が深く、画学生や絵師などを
逗留歓待して描かせた彼らの作品はもとより、高名な書画も広く
収集しました。それらが時を超えて現在、旅籠屋丸一の館内随
所に飾られているわけです。「蔵の湯 HAYASHI」の前身である
蔵も七代目の建てたもので、玄関ホール天井の横柱には大き
く「友七」と自筆の力強い筆文字が残されています。また、明
治維新にかけて幕末で活躍した書画が点在することから、友七
も新しい時代を望んだ人物の一人だったかもしれません。

その後、本格的な街道の宿としての歴史は閉じられていましたが、
十三代目が再び開業にこぎつけ、先人達の想いに耳を傾けな
がら少しずつ形を変えて現在に至っております。古きよき時代の
作品や調度品の中で、少しでも安らぎを感じていただく事が十
五代目の宿主の願いです。

